

農林水産商工常任委員会資料

(平成30年3月20日)

項目	ページ
1 株式会社びーふるの倉吉市進出に係る調印式の実施について 【立地戦略課】	…… 1
2 「出張！県立ハローワーク」の開催結果について 【就業支援課・鳥取県立境港ハローワーク】	…… 3
3 専修大学との就職支援に関する連携協定の締結について 【就業支援課】	…… 4

株式会社びーふるの倉吉市進出に係る調印式の実施について

平成30年3月20日
立地戦略課

玩具（フィギュア）製造を行う株式会社びーふる（本社：愛知県一宮市）が、業績拡大・受注増・BCPに対応するため倉吉市内に工場を設置することとなり、これを支援する鳥取県及び倉吉市との間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

1 企業概要

- (1) 企業名 株式会社びーふる
- (2) 所在地 愛知県一宮市籠屋二丁目6番23号
- (3) 代表者 代表取締役 前田 直人（まえだ なおと）
- (4) 資本金 3,000万円
- (5) 売上高 7億円（平成29年度）
- (6) 従業員数 58名
- (7) 事業内容 玩具（フィギュア）製造、3Dデータの加工・編集、模型製作など

【今後の見通し】

・同社は、量産小型フィギュアから等身大フィギュアまで幅広く、主にOEM（※）でフィギュアを生産するメーカーで、他社に先駆けて従来の金型射出成形から独自の3Dプリンターによる生産方式に変更し高品質なフィギュアを量産することに成功。近年大きく業績を伸ばしている。平成30年度も、受注ベースですでに平成29年度の2倍程度の伸びが予想されるなど、今後も業績拡大の見込みである。

※OEM (original equipment manufacturer) …企業が委託者のブランド（商標）で販売するという条件で、製品・部品を受託生産すること

2 投資計画概要

- (1) 立地予定場所：倉吉市福庭町（ふくばちょう） 工場跡地
- (2) 工場名：株式会社びーふる 倉吉工場
- (3) 事業内容：フィギュア製造
 - 計画期間：平成30年度～34年度の5年間
 - 計画内容：フィギュア製造工程の一部を愛知県一宮市の工場等から移転し、倉吉工場で実施。将来的には、全工程の倉吉での実施を目指している。
- (4) 雇用人数：50名（うち正規30名）
- (5) 操業予定：平成30年5月（見込）
- (6) 投資金額：約1.3億円程度（設備投資0.5億円、賃借料・設備機器リース料0.8億円）
※賃借料・設備機器リース料は5年間の総額。

3 企業立地支援の見込み

- ・鳥取県企業立地事業補助金
設備投資：約7,500千円（補助率15%：基本10%+リスク分散5%）
 - ・コンテンツ・事務管理関連雇用事業補助金
賃借料・設備機器リース料：約8,000千円（補助率1/2）を5年間支援
- ※その他、正規雇用創出奨励金等による支援も予定している。

4 調印式

- (1) 日時 平成30年3月14日（水）
午後1時～1時40分
- (2) 場所 知事公邸 第1応接室
- (3) 出席者 株式会社びーふる
代表取締役 前田 直人
倉吉市 市長 石田 耕太郎
鳥取県 知事 平井 伸治

株式会社びーふるの倉吉市進出に係る
協定書調印式
平成30年3月14日



協 定 書

株式会社びーふる（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び倉吉市（以下「丙」という。）は、甲の倉吉市への進出について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり倉吉市に工場を設置するものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める工場の設置及び操業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、法令等の規定を遵守し、特に工場の設置、運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第4条 甲は、従業員の採用に当たっては、倉吉市在住者を中心として、鳥取県内在住者及び鳥取県内へのUIJターン者の積極的な採用に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第5条 甲は、事業に当たっては、鳥取県内企業への受発注に努めるものとし、また、操業開始後においても、鳥取県内企業との積極的な取引に努めるものとする。

第6条 甲が別紙1のとおり倉吉市に工場を設置することに対し、乙及び丙は、別紙2に定める支援を行うものとする。

第7条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第8条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成30年 3月14日

甲 愛知県一宮市籠屋二丁目6番23号
株式会社びーふる 代表取締役 前田 直人

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
鳥取県 鳥取県知事 平井 伸治

丙 鳥取県倉吉市葵町722番地
倉吉市 倉吉市長 石田 耕太郎

（別紙1）

進 出 計 画 概 要

- | | |
|----------|-------------------|
| 1 事業所の名称 | 株式会社びーふる 倉吉工場 |
| 2 所在地 | 鳥取県倉吉市福庭町一丁目571番地 |
| 3 事業開始 | 平成30年5月（予定） |
| 4 事業内容 | 玩具（フィギュア）の製造 |
| 5 雇用計画 | 約50名（5年計画） |

（別紙2）

- 鳥取県の支援
 - 鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援
 - 働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援
- 倉吉市の支援
 - 倉吉市企業立地促進事業助成規則（平成26年倉吉市規則第2号）に基づく支援

「出張！県立ハローワーク」の開催結果について

平成30年3月20日

就業支援課

鳥取県立境港ハローワーク

地域における働き手の確保という観点から、鳥取県立境港ハローワークでは、子育て世代や高齢者といった特定の対象者に向けた独自の求人カテゴリーを設けています。それらの対象者の求職登録を促進するために、対象者が集まりやすい場所において、「出張！県立ハローワーク」を開催しました。

- | |
|--|
| ○子育て応援求人：日祝休、昼間勤務、学校行事やお子さんの急な体調不良にも配慮できること、健康保険の扶養範囲内など子育てでできる求人条件を満たした求人。現在、9社14件の求人を登録。 |
| ○生涯現役求人：60歳以上の高齢者を対象に週3回程度、半日勤務などの勤務条件や高齢者の体力に合わせた仕事内容であることなど高齢者向けに厳選した求人。11社15件の求人を登録。 |

1 「子育て応援求人お仕事相談会」開催結果

(1) 日時 2月21日(木) 午後0時30分～4時

(2) 場所 境港市保健相談センター

(3) 内容 求人情報の提供、職業相談及び求職票受付、求人企業による会社説明、適職診断

(4) 概要

- ・境港市健康推進課や子育てサークルを通じ呼びかけをした結果、来場者は21名で、そのうち17名が新規に求職登録した。
- ・企業の参加は、澤井珈琲(株)、(有)岡田商店、弓ヶ浜水産(株)の3社。
- ・求職者からは「4月から保育所に入れるので、仕事を探している」「どんな仕事があるのか見に来た」等の意見があった。全体的に賃金・仕事内容よりも、勤務時間や休日に関する問い合わせが多い。
- ・企業側の採用意欲も高く、「スカウトしたい方がいた」「工場見学に誘った」などの積極姿勢が見られた。開催後2週間で来場者のうち2名の就職が決定した。

2 「生涯現役お仕事相談会」開催結果

(1) 日時 3月7日(水) 午前10時～午後4時

(2) 場所 境港市老人福祉センター「浜の里」

(3) 内容 求人情報の提供、職業相談及び求職票受付、求人企業による会社説明

(4) 概要

- ・境港市社会福祉協議会、ことぶきクラブとの共催。来場者は20名(男性10人、女性11人)で、うち13名が新規に求職登録した。
- ・企業の参加は、大海(株)、(株)澤井珈琲、第一交通(株)、弓ヶ浜水産(株)、(有)ジョイフルライフ・カネックスの5社。
- ・求職者からは「家にいるよりは、人とのかかわりを持ちたい」「体力的に今の仕事が難しくなってきた」など、生きがいとして働く、体力に応じた仕事を求める傾向がうかがえた。
- ・開催後の求職者の動きも早く、さっそく応募する高齢者や面接の約束を取り付ける方も見られた。仕事内容を映像で説明している企業もあり、積極的に採用しようとする姿勢が見られた。



3 今後の予定

(1) 県立境港ハローワークの今後の予定

- ① 相談会で登録された求職者に対しては、継続して就業に向けたサポートを行うとともに、企業訪問により、「子育て応援求人」や「生涯現役求人」への登録を促進する。
- ② 子育て世代に対しては、3歳児検診等子育て世代が集まりやすい機会をとらえ、相談会の開催を検討する。また、高齢者に関しては、来年度から月1回(毎月第2水曜日)に境港市老人福祉センターにおいて、出張相談室を開設する。
- ③ 多様な求職者ニーズに対応するため、「資格取得応援求人」など新たな独自求人カテゴリーを設けることを検討する。
- ④ 求職者の登録促進を目指して、3月24日(土)プラント5境港店にて第2回「出張！県立ハローワーク」を開催する。

(2) 他の県立ハローワークへの展開

県立境港ハローワークで開催した「子育て応援求人お仕事相談会」及び「生涯現役お仕事相談会」については、求職者へのアピール効果が高いことから、今後、他の県立ハローワーク(鳥取、倉吉、米子)に横展開していく。

専修大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成 30 年 3 月 20 日
東 京 本 部
雇用人材局就業支援課

県出身学生等の I J U ターン就職を推し進めるとともに、鳥取県の次代を担う人材の育成及び確保を図るため、このたび、専修大学と就職支援協定を締結することになりましたので、報告します。

今後、大学と連携しながら、鳥取県への就職に関する情報等の提供や U ターン就職を促進するためのイベント等の取組を進めていきます。

※大学、県、(公財)ふるさと鳥取県定住機構による 3 者協定。なお、首都圏では今年度、中央大学・明治大学に引き続き 3 校目の協定締結

1 協定日時・場所

平成 30 年 3 月 20 日 (火) 14 時から 専修大学神田校舎

2 連携・協力事項

- ア 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種イベント等の周知
→大学のポータルサイト等による情報の配信、学内就職支援窓口への各種情報(パンフレット、チラシ類)の配架・掲示、学内掲示板への掲示(パンフレット、チラシ類) など
- イ 学内で行う就職相談会等の開催
→学内 U・I ターン就職相談会に鳥取ブースを設置して参加
- ウ 保護者に対する I J U ターン就職に係る情報提供に関する事
→保護者会・父母会において、鳥取県内への就職に関する説明、情報提供
- エ 学生の I J U ターン就職に係る情報交換及び実績把握に関する事
→県の就業支援課が実施する鳥取県出身学生を対象とした卒業人数、鳥取県内就職人数(U ターン)の調査への協力
- オ その他学生の I J U ターン就職促進に関する事
→就職支援イベントの共同実施(就職支援セミナー、大学 OB・OG との交流会の開催 など)

3 協定の目的とねらい

首都圏では、大手企業などによる新卒求人が拡大している。こうした動きに対し、地方が若い人材を確保するためには、学生に対し、県内企業等の就職情報や地元で生活することの「良さ」などを周知することが重要である。

このたび、専修大学と就職支援協定を締結することで、大学を通じて学生やその保護者に対し、県内就職に関する情報を提供できること、大学と連携したイベント等で直接学生に U ターン就職を働きかけられることは、県内就職を促進する上で大きな効果が期待できる。

4 専修大学の概要

所在地	東京都千代田区神田神保町 3-8 (本部：神田キャンパス)
学部	法学部、経済学部、経営学部、商学部、文学部、人間科学部、ネットワーク情報学部
県出身学生数	1 年生 9 名、2 年生 5 名、3 年生 4 名、4 年生 4 名 計 22 人

5 本県と県外大学等との協定締結状況

区分	包括協定	就職支援協定
大学名 (締結時期)	<u>明治大学 (H21. 3)</u> 龍谷大学 (H22. 7) 京都女子大学 (H27. 6) 京都産業大学 (H28. 10) ※首都圏で1校締結済み (今後予定) 青山学院大学 (H30. 3. 20 締結予定)	神戸学院大学 (H26. 2) 立命館大学 (H26. 7) 武庫川女子大学・同短期大学部 (H26. 7) 関西大学 (H26. 11) 同志社大学 (H27. 7) 兵庫医療大学 (H27. 10) 美作大学・同短期大学部 (H28. 8) 神戸電子専門学校 (H28. 9) 神戸女子大学 (H29. 1) 神戸女子短期大学 (H29. 1) 近畿大学 (H29. 6) 大阪商科大学 (H29. 6) <u>中央大学 (H29. 9)</u> <u>明治大学 (H29. 10)</u> ※首都圏で2校締結済み (今後予定) 専修大学 (H30. 3. 20 締結予定 (今回報告分))

6 鳥取県出身学生の首都圏大学への進学状況(学生数上位15校を抜粋 平成29年7月現在)

(単位:名)

	大学名	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	合計
1	日本大学	22	16	26	26	90
2	明治大学	12	7	17	17	53
3	早稲田大学	15	11	10	10	46
4	東海大学	7	9	10	10	36
5	東京学芸大学	7	12	8	8	35
6	日本体育大学	5	9	9	9	32
7	東京大学	5	12	5	6	28
7	中央大学	5	9	7	7	28
7	創価大学	10	8	5	5	28
10	駒澤大学	4	5	9	9	27
11	筑波大学	3	10	9	4	26
11	帝京大学	4	4	9	9	26
11	法政大学	5	3	9	9	26
14	東洋大学	1	8	7	7	23
15	専修大学	9	5	4	4	22
15	慶應義塾大学	2	7	5	8	22
15	東京農業大学	6	6	5	5	22

＜参考＞大学連携によるUターン就職促進に関する取組状況

1 就職支援協定の締結

- (1) 中央大学 平成29年9月13日 協定締結
- (2) 明治大学 平成29年10月18日 協定締結
- (3) 専修大学 平成30年3月20日 協定締結予定（今回報告）

2 協定校との具体的な取組実施状況（中央大学、明治大学とも共通）

(1) 学生に対する県内の企業情報、生活情報等の周知に関すること

- ・電子メール等による情報の配信
→奨学金制度、インターンシップ、ワーキングホリデー、エアサポート事業、首都圏での県等主催の就職関連イベントの案内を電子メールで鳥取県出身学生に情報配信
- ・学内就職支援窓口への各種情報（パンフレット、チラシ類）の配架・掲示
- ・学内掲示板への掲示（パンフレット、チラシ類）
→奨学金制度、インターンシップ、ワーキングホリデー、エアサポート事業、県職員採用案内、県内企業ガイドブックの案内の学内配架・掲示

(2) 学内で行う就職相談会等の開催に関すること

- ・学内U・Iターン就職相談会に鳥取ブースを設置して参加
→明治大学（12/20）、中央大学（12/1（公務員志望都限定相談会）・1/17）
※中央大学については、協定締結により初めて声がかかり参加

【主な参加学生の声】

- ・奨学金やインターンシップなどの充実した就職支援制度の詳細情報を聞くことができ、地元就職の気持ちが強くなった

(3) 学生のI・J・Uターン就職に係る情報交換及び実績把握に関すること

- ・県の就業支援課が実施する鳥取県出身学生を対象とした卒業人数、鳥取県内就職人数（Uターン）の調査への協力

(4) その他学生のI・J・Uターン就職促進に関すること

中央大学の鳥取県出身学生を対象とした就職支援セミナーを実施予定（3月27日開催予定）

3 協定校以外の大学等との連携

(1) 大学が実施する就職相談会の参加状況

首都圏の大学に在学する学生（本県出身者を含む）の、本県へのI・J・Uターン就職・移住定住を促進するため、大学に働きかけを行い、参加可能な大学については学内の就職相談会等に参加して学生の相談対応等を行った。

※静岡大学（5/25）、神奈川大学（6/12、11/7）、青山学院大学（6/21）、玉川大学（7/20）、専修大学（11/5）、高崎経済大学（11/22）、拓殖大学（11/24）、駒沢女子大学（12/4）、東海大学（12/8）、東洋大学（12/9）、帝京大学（12/18）、日本大学（2/20） 計12大学

(2) 学生県人会との連携

首都圏の主要大学の中で県内出身学生が多い早稲田大学の学生県人会と連携し、学園祭で鳥取ブースを出展し、鳥取県のPR（鳥取県の特産品販売等）を行った。（H29.10.15 早稲田大学学園祭）

【主な参加学生の声】

地元をいたら関心のなかった特産品を知る機会になり、鳥取の食の魅力を改めて実感することができた。

(3) 学生寮との連携

鳥取県学生寮と連携し、寮生に対して就職活動の初期アプローチに必要な知識・情報を提供する「就活セミナー」を開催し、併せてUターン就職の良さについても提示して、早い段階からUターン就職を意識させた。

①静和寮（女子寮）：H29.10.22実施 明倫館（男子寮）：H29.11.18実施

【主な参加学生の声】

鳥取に帰ることを考えていなかったが、セミナーに参加して、鳥取の企業を調べてみようと思った。

